

iVMS-4500 (Android) モバイルクライアントソフトウェア



UD.6L0202D2113A01



COPYRIGHT ©2017 GRASPHERE JAPAN Co., Ltd.

ALL RIGHTS RESERVED.

文章、画像、図表を含むすべての情報は、GRASPHERE JAPAN Co., Ltd. またはその子会社(以下、 「GRASPHERE JAPAN」とする)の所有するものとします。本ユーザーマニュアル(以下、「本マニ ュアル」とする)は、GRASPHERE JAPAN の事前の書面による許可なく、部分的または全体的にかか わらず再生産、変更、翻訳または配布できないものとします。それ以外規定されていない場合、 GRASPHERE JAPAN は、マニュアルに関して、明示または黙示のいかなる保証、保証または表明を 行いません。

本マニュアルについて

本書は iVMS-4500 モバイルクライアントソフトウェアに適用されます。

本マニュアルには製品の使用および管理についての指示が含まれています。ここに記載されてい る写真、表、画像およびその他すべての情報は説明だけを目的としています。本マニュアルに含 まれる情報は、ファームウェア更新やその他の理由で通知なく変更されるものとします。最新版 は企業ウェブサイト(http://www.grasphere.com/)でご確認ください。 プロの指導の下で本ユーザーマニュアルをご利用ください。

商標に関する確認

GRASPHEREおよびその他 GRASPHERE JAPAN の商標およびロゴは、国や地域に関係なく GRASPHERE JAPAN の所有物です。以下に示されたその他の商標およびロゴは、各権利保有者の所 有物です。

免責事項

適用法により許容される範囲内で、記載の製品とそのハードウェア、ソフトウェアおよびファー ムウェアは、あらゆる誤謬やエラーを含め、そのままの形で提供されるものとし、GRASPHERE JAPAN では明示黙示を問わず一切の保証(商品性、十分な品質、特定の目的の適合性および第三者の権



利非侵害を含むがそれだけに限定されない)を行いません。GRASPHERE JAPAN およびその取締役、 役員、従業員または代理人は、たとえ GRASPHERE JAPAN がこのような損害に関して忠告を受けて いても、本製品に関連する事業利益の損失や事業妨害、データや書類の損失に関する損害を含む 特別、必然、偶発または間接的な損害に対して一切の責任を負いません。

インターネットアクセスを伴う製品に関して、当該製品の一切の使用はお客様自身の責任による ものとします。GRASPHERE JAPAN は、異常操作、プライバシー漏えいまたはサイバー攻撃、ハッキ ング、ウィルス検査やその他のセキュリティリスクから生じるその他の損害に対して一切の責任 を負わないものとします。ただし、必要に応じて GRASPHERE JAPAN は適宜技術サポートを提供し ます。

監視に関する法律は裁判管轄地域によって異なります。本製品のご使用前に、使用地の裁判管轄 地域におけるすべての関連法を確認して、必ず適用法に準拠するかたちで使用してください。本 製品が不正な目的で使用された場合に、GRASPHERE JAPAN は責任を負わないものとします。 本マニュアルと適用法における矛盾がある場合については、より新しいほうを優先します。

 $\mathbf{2}$



目次

第1章	緒言
1.1	概要
1.2	システム要件
1.3	コンベンション5
第2章	ソフトウェアのインストールとアンインストール6
2.1	ソフトウェアのインストール6
2. 2	ソフトウェアのアンインストール6
第3章	ソフトウェアの実行7
3.1	地域の選択
3. 2	パスワード保護7
3.3	インターフェイスの概要9
第4章	デバイス管理
4.1	デバイスの追加
4. 2	デバイスの変更
4.3	デバイスの削除
第5章	ライブビュー
第6章	遠隔再生
第 7 章	アラーム管理
第8章	画像&ビデオ管理
第9章	クラウドサービス
第 10 章	む システム設定
付録	



第1章緒言

1.1 概要

Android OS(バージョン 2.3.3 以降) を基に携帯電話用に設計された iVMS-4500 (Android) V4.2 モバイルクライアントソフトウェアを使用すると、 埋め込み型 DVR、 NVR、ネットワークカメラ、ネットワークスピードドーム、エンコーダーからのライ ブビデオをワイヤレスネットワーク経由で遠隔地からモニターしたり、録画ファイル を再生したり、ローカルに保存したり、写真やビデオを管理したり、アラーム通知や アラーム情報を管理したり、アラーム出力を制御したり、PTZ コントロールを実現す ることができます。

さらに、iVMS-4500 ソフトウェアは、クラウドサービスに、お使いのクラウドアカウ ントや追加デバイスを管理する方法も提供します。

このソフトウェアを携帯電話にインストールすると、Wi-Fi、3G、または 4G 経由でフ ロントエンドデバイスにログオンできます。また、お使いのデバイスでパブリック IP が利用できない場合には、ダイナミックドメイン名を使用すること、またはルーター のパブリック IP にポートをマッピングすることでアクセスすることができます。

注意:

- Wi-Fi、3G、または4Gアクセスサービスは、携帯電話でサポートされている必要があり ます。
- このクライアントソフトウェアの使用中にネットワークトラフィックの料金が発生する可能性があります。これについてはご利用の ISP に問い合わせてください。

1.2 システム要件

携帯電話は Android OS (バージョン 2.3.3 以降) に基づいている必要があります。 注意:480*800、480*854、960*540、1280*720、800*1280 または 1920*1080 の解像度 を持つ携帯電話が対応します。



1.3 コンベンション

説明を簡単にするため、以下の章では、「iVMS-4500 (Android) モバイルクライアント ソフトウェア」を「ソフトウェア」、「DVR、NVR、エンコーダー、ネットワークカメラ、 ネットワークスピードドーム」を「デバイス」とそれぞれ呼ぶことにします。 ソフトウェアのインストールとアンインストール



第2章ソフトウェアのインストールとアンインストール

2.1 ソフトウェアのインストール

手順:

- 1. Google Play にログインします。
- 2. 「iVMS-4500」を入力して、モバイルクライアントソフトウェアを検索します。
- 3. **ソフトウェア iVMS-4500** を選択し、ダウンロードしてお使いの携帯電話にインストール します。
- ソフトウェアを正常にインストールしたら、 をクリックすると、ソフトウェアを起動します。
- 2.2 ソフトウェアのアンインストール

手順:

携帯電話の「アプリケーション管理」インターフェイスに入ります。(たとえば、[設定]>[アプリ])。

注意:

「アプリケーション管理」インターフェイスに入るパスは、お使いの携帯電話の Android OS バージョンによって異なります。

- 2. ソフトウェアアイコンをクリックします。
- ソフトウェアの「App Info」インターフェイスで、アンインストールボタンをクリックし、OK ボタンをクリックしてソフトウェアをアンインストールします。



第3章ソフトウェアの実行

ソフトウェアを正常にインストールしたら、 💿 をクリックしてソフトウェアを起動 します。

3.1 地域の選択

iVMS-4500 ソフトウェアを初めて実行する際には、デバイスが配置されている地域を 選択してください。そうしない場合、デバイスのライブビュー、再生及びアラーム通 知が実行できなくなります。

手順:

1. 地域の選択フィールドをクリックし、該当する大陸から国を選択します。



2. 入力をクリックしてソフトウェアのメインページに入ります。

注意:その後、選択した範囲を変更する必要がある場合は、「設定」ページに移動し で範囲を再選択してください。

3.2 パスワード保護

パスワード保護を有効にすると、パスワードを持つユーザーのみがソフトウェアにア





クセスできます。

タスク1:パスワード保護を有効にする

手順:

1. 🧧 をクリックして設定を選択し、「設定」インターフェイスに入ります。



- 2. パスワード保護をクリックし、パスワード保護のスイッチを「オン」に設定して、「パ スワード設定」インターフェイスに入ります。
- 3. ソフトウェアのパスワードを入力し、確認して、パスワード保護を有効にします。

注意:

パスワードの長さは 1~10 でなければなりません。

次回、終了後にソフトウェアを実行する場合は、最初にログインするためのパスワードを入 カする必要があります。

タスク2:パスワードを変更する

パスワード保護をクリックし、パスワードの変更をクリックし、対応する情報を入力 してパスワードを変更できます。

タスク3:パスワード保護を無効にする

手順:

1. パスワード保護をクリックし、パスワード保護のスイッチを「オフ」に設定して、パス



ワード保護を無効にします。

- 2. パスワードを入力して設定を確認します。
- 3.3 インターフェイスの概要

このソフトウェアには、ライブビュー、遠隔再生、デバイスの管理、アラームの管理、 画像とビデオ管理、クラウド管理、および設定の7つの主な機能があります。

	L	ive Viev	v	
		(+ `)		
		0		
	4	•	9	16
<u>•</u>	Ē	<u>♪</u>	<u>[]/]</u>	

◎ をクリックすると、インメニューが表示されます。

メインメニューの説明

メニュー	説明
ライブビュー	ライブビュー、PTZ コントロール、ローカル録画、アラー ム出カコントロールなど。
リモート再生	デバイスに保存されている録画ファイルを再生します。
デバイス	デバイスリストの表示、デバイスの追加/削除/変更、デバ イス情報の表示など。
アラーム	アラーム通知の有効化、アラーム情報の管理、アラームリ ンケージ情報の表示。
画像とビデオ	ローカルビデオファイルと画像の表示と管理。



EZVIZ クラウ	クラウドアカウントの登録、クラウドへのログイン、クラウド
ド P2P	サービスにサポートするデバイスの管理。
設定	パスワード保護と電子メールによるフィードバックの設 定。 トラフィック統計の確認、Wi-Fi 設定、範囲の選択。 ライブビューまたは再生のハードウェアデコードの有効 化。 ソフトウェアのバージョン情報、ヘルプファイルおよび 新機能の表示。



第4章デバイス管理

4.1 デバイスの追加

最初に、ライブビューや再生やデバイス管理などのすべての操作にアクセス可能なデ バイスを追加する必要があります。

注意:デバイスを追加する前に、デバイスが配置されている範囲を選択してください。 そうでない場合、デバイスのライブビュー、再生およびアラーム通知が実行できなく なります。

手順:

1. 🦲 をクリックしてデバイスを選択し、「デバイス管理」インターフェイスに入ります。



- 2. デバイスを追加するには4つの方法があります。
- ▶ 手動追加

1) 🕀 をクリックし**手動追加**を選択します。

別名:希望に応じて、デバイスの名前を編集します。

登録モード:HiDDNS、IP/ドメイン、IP サーバーのいずれかの登録モードを選択します。



- HiDDNS: デバイスを HiDDNS サーバーに登録する際には、サーバーに登録されているデバイスドメイン名を入力する必要があります。
- IP/ドメイン:固定 IP アドレスまたはドメイン名を通じてデバイスにアクセスすることができます。IP アドレスまたはドメインアドレスと、デバイスのポートを編集する必要があります。
- IP サーバー: IP サーバーを通じてデバイスにアクセスすることができます。IP サーバーアドレスとデバイスの識別子 (デバイス名またはデバイスシリアル番号)を設定する必要があります。

ユーザー名:追加デバイスのユーザー名を入力します。

パスワード:追加デバイスのパスワードを入力します。

カメラ番号:デバイスに接続されているカメラ番号は、デバイスの追加が成功した 後に取得できます。

2) 🔲 をクリックして設定を確認します。

\bigcirc	New Device	P
Alias	New Device 03	0
Register Mode	IP Server	>
Server Address		
Identifier		
User Name		
Password		
Camera No.	1	

- > QR コードのスキャン
 - 1) 🕒 をクリックして QR コードのスキャンを選択します。
 - 2) お使いの iPhone を使用して、追加するデバイスの QR コードをスキャンフレームに合わ せてスキャンします。

注意:QR コードは、iVMS-4200 クラアントソフトウェア、またはデバイスのロ



ーカルメニューから取得できます。

デバイスのローカルメニュー: [メニュー] -> [メンテナンス] -> [デバイス情報]

Device Info	Camera	Record	Alarm	Network	HDD
Device Na	ne		Embe	dded Net D	/R
Model			DS-90	16HF-RT	
Serial No.			16201	20802BBR	R408198462WCVU
Firmware \	ersion/		V3.2.0), Build 1501	09
Encoding \	/ersion		V1.0,	Build 15010	9
		<u>.</u>			
22.31					
1.83		÷.			
	8 53 - 5				
	1940°	8 - E			

iVMS-4200 (V2.3.0.4 またはそれ以降):「デバイス管理」モードで [サーバー] タ ブを選択し、デバイスをクリックして選択し、QR コードをクリックすると、デ バイスの QR コードウィンドウがポップアップします。

 Server 🗃 Group								
Organization	Device for Manag	ement (16)						
📾 Encoding Device	+ Add Device	🗹 Modify 🗙 D	Delete 🔹 Remote Co	🍣 VCA Allocation 🎇 QR Co	de 🌻 Activate	📀 Refresh A	Filter	
EZVIZ Cloud P2P Device	Nickname 🔺	IP	Device Serial No.	Se	curity F	Resource Usa	HDD St	-
🚮 Storage Server	2103	172.10.18.149	DS-2DE2103I-DE3/W2015	0211CCWR502722999	(8	•	
🕂 Add New Device Type	2412	10.16.1.251	DS-2CD2412F-IW2014011	8CCCH450047294	6	9	0	

3) 識別されたデバイスを選択して追加をクリックします。

≻ Wi-Fi 設定

- 1) 🕒 をクリックして Wi-Fi 設定を選択します。
- デバイスのシリアル番号 (9 桁) を入力するか、 □ をクリックして、携帯電話を 使用して QR コードまたはバーコードをスキャンフレームに合わせてデバイスラベ ルのシリアル番号をスキャンします。





E Serial No.	
Serial No. (9-bit)	١,
Next	

- 3) 次へをクリックし、iPhone が接続する Wi-Fi ネットワークのパスワードを入力しま
 - す (必要な場合)。

e v	Vi-Fi Information
TEST	
Password	
	Next

- 次へをクリックし、「開始する前に」ページに入ります。そのページのヒントに従って、追加したいデバイスを適切に配置して設定します。
- 5) 次へをクリックすると、デバイスが Wi-Fi ネットワークへの接続を開始します。



() () () () () () () () () () () () () (Place your device, mobile phone and router at a proper distance.
×	When configuring the Wi-Fi settings, disconnect the network cable from the device.
(III-FE	Reset the device if it has already connected to the network.
	Next

- デバイスが Wi-Fi ネットワークに接続された後に、以下のパラメータを設定します。
 IP アドレスとポート番号が自動的に取得されます。
 - **別名**:希望に応じて、デバイスの名前を編集します。
 - **ユーザー名**:追加デバイスのユーザー名を入力します。
 - **パスワード**:追加デバイスのパスワードを入力します。
 - カメラ番号:デバイスに接続されているカメラ番号は、デバイスの追加が成功した後に取得できます。
- 7) 回 をクリックしてデバイスを追加します。
- ▶ オンラインデバイスの追加
 - 1) **●** をクリックし**オンラインデバイス**を選択します。
 - 2)携帯電話と同じローカルエリアネットワーク内のオンラインデバイスが表示されます。

リストから、追加するデバイスを選択します。

注意:

- LAN 上のプライベートマルチキャストプロトコルを介してクライアントソフト ウェアによって、オンラインネットワークカメラが自動検知されるように、デ バイスの「マルチキャストディスバリー」機能が有効になっていることを確認 してください。詳しくは、ネットワークカメラの取扱説明書をご覧ください。
- 非アクティブデバイスの場合は、デバイスを正しく追加する前にパスワードを



作成する必要があります。



デバイスをクリックすると、デバイス情報やネットワーク情報などのオンラインデバイスの詳細が表示されます。

¢	Details 🖉					
Device Information						
MAC Address	00-95-69-21-96-42					
Software Version	V1.1.0build 150604					
Serial No.	DS-KH6310-A0120150708AAWR201503212CVL					
Network Informat	ion					
IP Address	192.0.0.64					
Subnet Mask	255.255.255.0					
Gateway	0.0.0.0					
Port	8000					
	Add					

🧭 をクリックしてネットワーク情報が編集できます。

IP アドレスを手動で変更するか DHCP のスイッチをオンに設定して、デバイス IP アドレスを、お使いの iPhone と同じサブネットに変更します。



\bigcirc	Edit	R
DHCP		\bigcirc
Network Informat	ion	
IP Address	192.0.0.64	\otimes
Subnet Mask	255.255.255.0	\otimes
Gateway	0.0.0.0	8
Port	8000	0

回 をクリックし、デバイスの管理者パスワードを入力して、設定を保存します。

4) 追加をクリックし、「新規デバイス」インターフェイスを開きます。

\bigcirc	New Device	R
Alias	192.0.0.64	۲
Address	192.0.0.64	
Port	8000	
User Name		
Password		

- 5) 必要な情報を入力します。
 - **別名**:希望に応じて、デバイスの名前を編集します。
 - **ユーザー名**:追加デバイスのユーザー名を入力します。
 - **パスワード**:追加デバイスのパスワードを入力します。
- 6) 回 をクリックしてデバイスを追加します。



注意:

- デバイスが正常に追加された場合、ソフトウェアはカメラ情報を取得することができます。
- 最大 256 台のデバイスを追加できます。
- ライブビューを開始するをクリックすると、新たに追加されたデバイスが表示できます。ライブビューの詳しい操作方法については第5章をご覧ください。

${igodot}$	Devices 🖉
Alias	Intersection
Register Mode	IP/Domain
Address	115.236.50.5
Port	8800
User Name	admin
Password	•••••
Camera No.	3
S	tart Live View

をクリックし、「デバイス管理」インターフェイスに戻ります。正常に追加された 新規デバイスが「デバイス管理」インターフェイスに表示されます。

パスワードの強度

デバイスが正常に追加されると、ソフトウェアは自動的にパスワードの強度を判断し ます。簡単に推測されるか、またはひどく脆弱なパスワードを使用すると、パスワー ドセキュリティが表示されます。この場合、強力なパスワードを使用してデータセキ ュリティを確保することを強くお勧めします。強力なパスワードの範囲は 8~16 文字 で、数字、小文字、大文字、特殊文字のうち少なくとも 3 つを含む必要があります。

デバイスの有効化

手動追加やオンラインデバイスの追加の場合、追加するデバイスが有効化していなければ、デバイスをアクティブに依頼するポップアップが開きます。ウィンドウで**確認** をクリックして、デバイスをアクティベートします。



注意:デバイスに正しくアクセスする前に、デバイスを有効化にする必要があります。
手順:

- デバイスの管理者アカウントにパスワードを作成し、パスワードを確認します。ソフト ウェアによって自動的にパスワード強度が判断されます。強力なパスワードを使用して データのセキュリティを確保することを強くお勧めします。 強力なパスワードの範囲 は 8~16 文字で、数字、小文字、大文字、および特殊文字のうち少なくとも 3 つを含む 必要があります。
- 2) 確認をクリックしてデバイスをアクティベートします。

4.2 デバイスの変更

手順:

- 1. 「デバイス管理」インターフェイスでデバイスを選択し、デバイスの項目をクリックす ると、そのパラメータが表示されます。
- 2. Ø をクリックすると、実際のニーズに応じてデバイスのパラメータを変更することができます。

¢	Devices	Ø
Alias	Intersection	\otimes
Register Mode	IP/Domain	>
Address	115.236.50.5	\otimes
Port	8800	\otimes
User Name	admin	\otimes
Password	••••	\otimes
Camera No.	3	

- 3. 回 をクリックして変更を保存します。
- 4. 🤩 をクリックし、「デバイス管理」インターフェイスに戻ります。



4.3 デバイスの削除

「デバイス管理」インターフェイスでデバイスを選択し、長押しでは削除ウィンドウ をアクティブにします。確認をクリックすると、選択されたデバイスが削除されます。

[::::•	Intersection IP/Domain: 10.99.105.14 No.3		2
Hint			
Confi	rm to delete?		
c	onfirm	Cancel	



第5章ライブビュー

デバイスが正しく追加されると、そのデバイスからライブビデオを見たり、デバイスのアラーム出力を管理したり、PTZの動きを制御することができます。

注意:アラーム出力と PTZ 制御は、追加されたデバイスでサポートされる必要があり ます。

をクリックしてライブビューを選択し、「ライブビュー」インターフェイスに入ります。デフォルトでは、画面は4分割モードで表示されます。



アイコン	説明
	「カメラリスト」インターフェイスに入ります。
1 4	
9 16	1/4/9/16 のウィンドウ分割。
(+)	ライブビューに使用するカメラを選択します。
0	選択されたライブビューウィンドウの画像をキャプチャーしま
	す。
	選択されたライブビューウィンドウのビデオを録画します。
<u>_</u>	PTZ コントロールパネル。
	画質パネル。
	全てのライブビューを停止します。
())	音声コントロール。
Q	双方向音声。
LQ.	アラーム出力コントロールパネル。
(\pm)	デジタルズーム。



注意:アイコンツールバーをスライドすると、非表示になっているアイコンが表 示されます。

ライブビューの開始

手順:

- 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 5 をクリックすると、追加カメラのリストを表示します。デバイスノードをクリックすると、その下にある全てのカメラが一覧表示されます。 (オプション)また、た5 をクリックすると「カメラリスト」インターフェイスに入って、 ライブビューに使用するカメラを1台選択することもできます。 注意:デバイスの下にあるカメラの名称は、デバイスから取得されます。
- デバイス項目の デェックボックスにマークを入れるとその下にあるカメラがすべて選択されます。また、カメラ項目の チェックボックスにマークを入れると希望する特定のカメラが選択されます。
 注意:
- カメラリストを下向きにスライドすると、デバイスの状態を更新することができます。
- デバイスがチャンネルゼロに対応し、そのように設定されている場合、チャンネルゼロのライブビューを選択することができます。
- デバイスの下にチャンネルが1つしかない場合は、デバイスのアイコンは ¹¹¹ と表示 されます。それ以外の場合は、¹¹¹¹ と表示されます。
- ライブビューでは、同時に 16 台までのカメラが選択できます。





うイブビューの開始をクリックして、選択されたカメラのライブビューが開始します。
 また、 たクリックすると 「ライブビュー」インターフェイスに戻ります。
 注意:カメラを初めてライブビューに使用するとき、サブストリームをサポートしている場合はサブストリームでライブビデオを再生し、それ以外場合はメインストリームで
 再生します。そうでない場合は、前回のストリームタイプで再生されます。

۲		Live View		3
an of D to T	iarage (Fluent	Salaria Salaria Interse	tion-Speed I	The United
Intersection-5	Conth Croses [E	nor	÷	
	4	•	9	[16]
0	Ē,	2.		R

お気に入りの設定

お気に入りに、頻繁に使用するカメラを追加して、カメラを便利にアクセスできます。 手順:

- 1. ライブビュー開始の手順1と手順2 を実行して、カメラを選択します。
- 2. 🏂 をクリックすると、「お気に入り」にカメラが追加されます。
- 3. ポップアップダイアログボックスにお気に入りの名称を入力します。
- 4. 確認をクリックして設定を保存します。

注意:お気に入りは最大 32 個まで追加できます。 追加されたお気に入りがデバイスリストエリアに表示されます。 ライブビュー





Start Live View(3)	Σ.A
--------------------	-----

お気に入りを削除する場合は、長押しでは削除ウィンドウをアクティブにします。**確認**ボ タンをクリックすると、選択したお気に入りを削除します。

ウィンドウ分割

^{11/④/⑨/¹⁶}をクリックすると、希望のウィンドウ分割を設定できます。複数ページの 再生ウィンドウがある場合は、画面をスライドして次または前のページに移動できま す。



ウィンドウのシーケンスを調整するには、ウィンドウをドラッグして移動することが



できます。ライブビューウィンドウをダブルクリックすると、カメラが1分割モード で表示され、再度ダブルクリックしてリストアすることができます。

録画&キャブチャー

ライブビューモードで、ライブビューウィンドウを選択し、 ^国 をクリックしてビデ オを録画され、または、 ¹⁰ をクリックしてその画像をキャプチャーすることができ ます。

ビデオや画像は、「画像&ビデオ管理」インターフェイスで表示および管理することができます。(第8章を参照してください。)

注意:携帯電話のパフォーマンスに制限があるので、ライブビューでは、同時に4台のカメラを録画しないようお勧めします。

PTZ コントロール

ライブビューモードで再生ウィンドウを選択し、²をクリックして PTZ コントロー ルパネルをアクティベートすると、²が ²に変更されます。

注意:追加されたデバイスが PTZ コントロールにサポートされている必要があります。 ライブビューウィンドウをスライドさせると、パンの左/右とティルトの上下の動き を実現することができます。また、2本の指でズームインまたはズームアウトするこ ともできます。



ライブビュー



- アイコン 説明
- 自動スキャンの開始/停止
- 卛 ズームコントロール: ズーム+/₩ ズーム-
- フォーカスコントロール: コオーカス +/ フォーカス -
- アイリスコントロール: ②アイリス +/③ アイリス -
- プリセットの設定、削除、呼び出し。

プリセットの設定

手順:

- PTZ コントロールモードでライブビューウィンドウをスライドして、希望のシーンにカ メラを移動させることができます。
- 2. 🖉 をクリックして以下のダイアログボックスにアクセスします。



- 番号エリアをスライドしてプリセット番号を設定します。
 注意:プリセット番号は1から256の間で設定してください。
- 設定をクリックしてプリセットの設定を終了します。削除をクリックすると、プリセットを削除できます。

プリセットの呼び出し

プログラムされたプリセットの場合は、ダイアログボックスのプリセット番号を編 集し、**呼び出し**をクリックして呼び出すことができます。 PTZ コントロールが終了したら、¹をクリックして PTZ コントロールパネルが非表 示になります。

画質

クリアと滑らかさの2種類の規定画質タイプが提供されています。また、画質をカ スタマイズすることもできます。 22 をクリックし、お使いのネットワークや電話ハ ードウェアのパフォーマンスに応じて画質を調整します。 注意:

- 画質を変更すると、新しい設定により、デバイスのライブビューや録画に影響が出る可 能性があります。
- EZVIZ デバイスでは、画質をクリアか滑らかさに設定できます。

画質のカスタマイズ



手順:

1. カスタムをクリックすると、下に示したカスタマイズされたパネルがアクティベート します。

	Custom	
>	Stream Type	Sub Stream
>	Resolution	4CIF(704*576)
>	Frame Rate	25/30
>	Bitrate	512K
	Confirm	

- 2. 実際のニーズに応じて、ストリームタイプ、解像度、フレームレート、ビットレートな どのパラメータを設定します。
- 3. 確認をクリックして設定を保存します。 注意: ライブビューエフェクトは、お使いのネットワークと電話のハードウェアのパ フォーマンスに関連しています。ライブビューの動きが滑らかでない場合や画面がぼ やける場合は、カスタムモードでカメラの解像度、フレームレート、ビットレートを 下げて、または画質を滑らかさモードに設定してください。 次の表に、サムスン I9100 ギャラクシーSII (CPU:デュアルコア 1.2 GHz、メモリ:

1G)を使用した H.264 ビデオ圧縮における様々な解像度のフレームレートとビット

解像度	1 チャ	2 チャ	3 チャ	4 チャ	推奨設定
	ンネル	ンネル	ンネ	ンネル	
			ル		
HD1080P	\checkmark				フレームレート:4fps;
					ビットレート : 1024Kbps
UXGA	\checkmark				フレームレート:4fps;
					ビットレート : 1024Kbps
HD900P	\checkmark				フレームレート:6fps;
					ビットレート : 1024Kbps
SXGA	\checkmark				フレームレート : 10fps ;
					ビットレート : 1024Kbps
XVGA	\checkmark				フレームレート:15fps;
					ビットレート : 1024Kbps

レート設定の推奨値が記載されています。

ライブビュー



HD720P	\checkmark				フレームレート : 15fps ;
					ビットレート : 1024Kbps
XGA	\checkmark				フレームレート:20fps;
					ビットレート : 1024Kbps
WD1	\checkmark				フレームレート:25fps;
					ビットレート : 1024Kbps
SVGA	\checkmark				フレームレート:25fps;
					ビットレート : 1024Kbps
4CIF	\checkmark	\checkmark			フレームレート:25fps;
					ビットレート : 1024Kbps
VGA	\checkmark	\checkmark			フレームレート:25fps;
					ビットレート : 512Kbps
2CIF	\checkmark	\checkmark	\checkmark	\checkmark	フレームレート:25fps;
					ビットレート : 512Kbps
CIF	\checkmark	\checkmark	\checkmark		フレームレート:25fps;
					ビットレート : 256Kbps
QVGA	\checkmark	\checkmark	\checkmark	\checkmark	フレームレート:25fps;
					ビットレート : 128Kbps
QCIF	\checkmark	\checkmark	\checkmark	\checkmark	フレームレート:25fps;
					ビットレート:128Kbps

ライブビューの停止

ライブビューの動作中に 😡 をクリックすると (🕞 に変化する) 全てのカメラのラ イブビューを停止することができます。また 🗔 をクリックすると、前のライブビ ューを再開することができます。

もしくは、次の手順を実行して、特定のカメラでライブビューを停止することができます。

手順:

- 1. ライブビューウィンドウをクリックしてホールドします。
- 2. ウィンドウを上向きにドラッグして、ウィンドウの上方に 🛅 が表示されます。
- 3. 📓 に変わるまでウィンドウを 🗐 にドラッグし、ウィンドウを解放します。





アラーム出力コントロール

ソフトウェアで、追加デバイスのアラーム出力をコントロールすることができます。 注意:アラーム出力はそのデバイスによってサポートされる必要があります。 手順:

- 1. アイコンツールバーをスライドして、非表示のアイコンにアクセスします。
- 2. 🖉 をクリックしてアラーム出力コントロールパネルをアクティベートします。



3. アラーム出力 2 を選択し、それをクリックして C に設定し、このアラーム出力 を有効化します。有効になったアラーム出力 C をクリックして 2 に設定すると 無効になります。

デジタルズーム

ライブビューの動作中にデジタルズームを実現できます。 **手順**:



- 1. 再生中のウィンドウをクリックして選択します。
- 2. アイコンツールバーをスライドして、非表示のアイコンにアクセスします。
- 3. 🕀 をクリックすると、選択されたウィンドウは1分割モードで表示されます。
- 2本指をライブビューの画面の上に乗せ、指を広げるとズームインし、挟むとズームアウトします。また、ライブビュー画面をダブルクリックしてデジタルズームを実行することができます。

全画面ライブビュー

ライブビューの動作中に、携帯電話を回転すると、全画面モードにすることができます。

注意:この機能を実現するには、携帯電話の回転ロックを解除してください。非表示になった場合は、画面をタッチしてコントロールパネルをアクティベートすることができます。



アイコン	説明
1 4 9 16	1/4/9/16 のウィンドウ分割。
10	選択されたライブビューウィンドウの画像をキャプチャーしま す。
	選択されたライブビューウィンドウのビデオを録画します。
<u>R</u>	PTZ コントロールパネル。
	画質パネル。
	全てのライブビューを停止。
()	音声コントロール。
<u></u>	双方向音声。
<u>1</u> 9	アラーム出力コントロールパネル。
Ð	デジタルズーム。



第6章遠隔再生

追加されたデバイスに保存された録画済みのビデオファイルを検索して再生することができます。

再生の開始

手順:

- 1. 🦲 をクリックして遠隔再生を選択し、「遠隔再生」インターフェイスに入ります。
- 2. 図 をクリックすると、追加されたデバイスリストが表示されます。
 (オプション) また、 ③ をクリックすると開始時刻と終了時刻を設定して、再生に使用するカメラを1台選択することができます。
- 3. 開始時刻と終了時刻の各フィールドで開始時刻と終了時刻を設定して、検索条件を明確 します。
- 4. デバイスノードを選択してクリックすると、その下にあるカメラが一覧表示されます。
- 5. デバイス項目の 🔤 チェックボックスにマークを入れるとその下にあるカメラがすべ

て選択されます。また、カメラ項目の 🕑 チェックボックスにマークを入れると特定の カメラが選択されます。

注意:

- カメラリストを下向きにスライドすると、デバイスを更新することができます。
- その期間内に録画したカメラのみ再生できます。
- 最大4台のカメラが選択して、同時に遠隔再生できます。



	From: 2015-01-16 16:24	
	7 0015 01 10 15 04	
	10: 2015-01-19 16:24	
~	Intersection	0
	🗂 🕄 Garage	\odot
	Speed Dome	\odot
	South Cross	

 再生開始をクリックして、再生を開始します。
 注意:ウィンドウをドラッグして移動させると、ウィンドウのシーケンスを調整する ことができます。再生ウィンドウをダブルクリックすると1分割モードでカメラが 表示され、もう一度ダブルクリックすると元に戻ります。



7. タイムラインバーをスライドすると再生時間を調整することができます。





アイコン 説明

- □ 再生ウィンドウの画像をキャプチャーします。
- カ 再生ビデオをクリップします。
- □□ 再生が一時停止します。
- 再生速度が調整できます。
- □ 再生を停止します。
- ⊕ デジタルズーム。

注意: アイコンツールバーをスライドすると、非表示になっているアイコンが表示されます。

再生の停止

□ をクリックすると再生を停止できます。 または、次の手順を実行して再生を停止することができます。 手順:

- 1. 再生ウィンドウをクリックして押したままにします。
- 2. ウィンドウを上向きにドラッグすると、ウィンドウの上方に 🕅 が表示されます。
- 3. 📓 に変わるまでウィンドウを 📓 にドラッグし、ウィンドウを解放します。





クリップとキャプチャー

再生中に、 ¹27 をクリックすると再生ビデオをクリップすることできます。また、¹⁰⁰をクリックすると画像がキャプチャーできます。

クリップされたビデオやキャプチャー画像は、「画像&ビデオ管理」インターフェイス で表示および管理することができます。(第8章を参照してください。)

再生速度

録画ファイルの再生速度は 1/4 倍、1/2 倍、1 倍、2 倍、4 倍に設定できます。 手順:

- 1. クリックして再生中のウィンドウを選択します。
- 2. 🗵 をクリックし、再生に対応する速度を選択します。

デジタルズーム

ビデオファイルの再生中にデジタルズームを実行することができます。 **手順**:

- 1. アイコンツールバーをスライドすると、非表示のアイコンにアクセスします。
- 2. (土) をクリックし、2本指をライブビューの画面の上に乗せ、指を広げるとズームインし、挟むとズームアウトします。また、ライブビュー画面をダブルクリックしてデジタルズームを実行することができます。



全画面再生

ライブビューの動作中に、携帯電話を回転すると、全画面モードにすることができま す。

注意:この機能を実現するには、携帯電話の回転ロックを解除してください。非表示になった場合は、画面をタッチしてコントロールパネルをアクティベートすることができます。







第7章アラーム管理

「アラーム管理」インターフェイスでは、アラーム通知を有効にしたり、アラーム情 報を管理したり、アラームにリンクされたビデオを表示することができます。

アラーム通知

手順:

- 1.

 <
- 2. **アラーム通知の設定**をクリックして、「アラーム通知の設定」インターフェイスに入り ます。

e	Set Alarm Notification	
1:::: •	Intersection	\bigcirc

デバイスを選択し、 を C に設定すると、そのデバイスのアラーム通知が有効になります。このようにして、まず携帯電話にアラーム情報をプッシュすることができます。

注意:デバイスに警戒機能が装着され、アラーム通知機能に対応している必要があります。

 通知を受信すると、画面上部に通知が短時間表示されます。通知を無視するか、通知を クリックして直ちに対処することもできます。もしくは、通知にアラーム情報が直接表 示されます。



アラーム情報

手順:

1. **アラーム管理**をクリックすると、「アラーム管理」インターフェイスに入ります。受信 したアラーム情報を表示できます。

Alarm	8
Demo01-Channel01[PIR Alarm] 2015-01-22 17:12:24	39 1
Demo01-Channel01[Motion Detection Alarm] 2015-01-22 17:12:20	7 91
Demo01-Channel01[Line Crossing Alarm] 2015-01-22 17:12:16	591
Demo01-A1[I/O Alarm] 2015-01-22 17:12:13	
Demo01-Channel01[Video Tampering Alarm] 2015-01-22 17:12:09	79U
Demo01-A1[I/O Alarm] 2015-01-22 17:12:05	
Demo01-Channel01[Defocus Detection Alarm] 2015-01-22 17:11:57	691
Demo01-Channel01[Line Crossing Alarm] 2015-01-22 17:11:24	691
nament discustoring stand	
Set Alarm Notification	

- 2. いずれかのアラーム情報を選択して、長押しして、削除ウィンドウをアクティブにしま す。**削除**をクリックすると、選択されたアラーム情報が削除されます。
- 9. 10 をクリックすると、全てのアラーム情報が消去されます。
 注意:
- アラーム情報リストには最大 1000 件のアラーム情報を表示することができます。
- ソフトウェアにプッシュされ、通知できるアラームには、動体検知アラーム、ビデオロスアラーム、ビデオタンパーアラーム、センサーアラーム、ラインクロスアラーム、侵入検知アラーム、顔検知アラーム、シーン変更検知アラーム、音声異常アラーム、デフォーカスアラーム、PIR アラームがあります。

アラームリンケージ

手順:

- 1. 「アラーム管理」インターフェイスで、いずれかのアラーム情報を選択し、 ²⁰¹ をクリ ックします。
- ポップアップメッセージボックスでライブビューか遠隔再生を選択すると、動体検知、 ビデオロス、ビデオタンパー、ラインクロス、侵入、顔検知、シーン変更検知、音声異 常、ピンぼけ検知、PIRの各アラームを発生するカメラのライブビューや録画ファイル





が表示できます。

注意:関連録画ファイルは、アラーム発生の 30 秒前からアラーム発生後の 90 秒後 まで再生されます。例:動体検知アラームが 11 時 30 分 00 秒に発生した場合、録画 ファイルは 11 時 29 分 30 秒から 11 時 31 分 30 秒まで再生されます。





第8章画像&ビデオ管理

「画像&ビデオ管理」インターフェイスでは、「ライブビューと遠隔再生」インターフェイスで手動録画(クリップ)してキャプチャーしたローカルビデオファイルと画像の表示および管理ができます。写真やビデオファイルは、SD カードの IVMS-4500 のディレクトリに格納されています。また、他の利用可能なアプリケーションへの写真やビデオファイルを共有することができます。

他のアプリケーションに写真やビデオを共有する際、次の手順を実行してください。

手順:

- 1. 🙋 をクリックして、共有したい写真やビデオを選択します。
- 2. 🗹 をクリックして、 共有するために必要なアプリケーションを選択します。

バッチに含また画像やビデオを削除する際、以下の手順を実行してください。

手順:

- 1. 🙋 をクリックして、削除する画像やビデオを選択します。
- 2. ¹ をクリックすると、選択したファイルが削除されます。もしくは、^図 をクリックしてキャンセルします。

画像の管理

手順:

- 1.

 1.

 5 をクリックして、画像&ビデオを選択し、「画像&ビデオ管理」インターフェイスに
 入ります。
- 2. 画像をクリックすると、全画面で表示されます。削除する場合は、 🥮 をクリックしま す。他のアプリケーションに共有する場合は、 🏹 をクリックします。





ビデオの管理

手順:

「画像&ビデオ管理」インターフェイスで、ビデオをクリックすると、全画面表示になります。削除する場合は
 をクリックします。他のアプリケーションに共有する場合は、



- 2. ► をクリックすると、再生されます。タイムラインバーをスライドして、再生時間を 調整することができます。
 - 🔟 再生ビデオの画像をキャプチャーします。
 - □□ 再生を一時停止します。
 - ↓ 音声コントロール。





携帯電話を回転して全画面モードにすることもできます。
 注意:この機能を実現するには、携帯電話の回転ロックを解除してください。



第9章クラウドサービス

本ソフトウェアは、クラウドアカウントの登録、クラウドへのログイン、クラウドサ ービスを支援するデバイスの管理をサポートします。

EZVIZ Cloud P2P	
Account User Name/Email	
Password	
Auto-login Forgot Password	
Login	
Register	

アカウントの登録

クラウドアカウントをお持ちでない場合は登録することができます。 手順:

- 1.

 をクリックして、EZVIZ Cloud P2P を選択し、「クラウド」 インターフェイスに入ります。
- インターフェイスの右上で 2 か 2 をクリックし、サービスエリアを選択します。
 注意:お住まいの場所に応じてサービスエリアを選択してください。
- 3. 登録をクリックして、アカウント登録インターフェイスに入ります。
 「中国服务区」を選択する場合:携帯電話番号を入力し、認証コードの取得をクリックして、携帯電話で受信した認証コードを入力します。
 「海外」を選択する場合:Eメールアカウントを入力し、認証コードを撮影します。
 認証コードの取得をクリックして、Eメールで受け取った認証コードを入力します。
 注意:認証コードの画像がはっきりしない場合は、更新をクリックして、新たな画像を取得することができます。



Enter Mobile Phone Number	🕞 Enter Email
Mobile Phone Mobile Phone	Email Enter Email
Get Verification Code	G318
	Get Verification Code

4. クラウドアカウントのユーザー名とパスワードを設定して、登録が完了します。

ログイン

手順:

- 1. インターフェイスの右上で 🖸 か 🗵 をクリックし、サービスエリアを選択します。
- 2. ユーザー名、Eメールアカウントか携帯電話番号を入力し、パスワードを入力して**ログ** インをクリックします。

注意:

- 自動ログインチェックボックスにマークを入れると、ユーザー名とパスワードが 記憶させ、自動的にログインします。
- パスワードを忘れたら、パスワードの忘れた場合をクリックして、アカウントを確認し、パスワードをリセットします。

デバイス管理

ライブビュー、再生やその他の管理のために、お持ちのクラウドアカウントいデバイス を追加することができます。

手順:

● をクリックし、お使いの携帯電話を使用し QR コードとスキャンフレームを合わせて、デバイスラベル上のシリアル番号をスキャンします。もしくは、 をクリックし、デバイスのシリアル番号 (9 桁) を入力し、検索をクリックしてデバイスを検索することもできます。



注意:

- クラウドサービスに支援するデバイスのみが追加できます。
- デバイスは、1つのクラウドアカウントにしか追加できません。



- 正しく追加されたデバイスは「デバイス管理」インターフェイスに表示され、ライブビ ユー開始をクリックすると、そのデバイスでライブビューを表示されます。
- 「デバイス」インターフェイスで、デバイスを選択し、長押しして、削除ウィンドウを アクティブにします。削除をクリックすると、クラウンアカウントから選択したデバイ スが削除されます。

アカウント管理

アカウントをクリックすると、クラウドアカウントが管理できます。 パスワードの変更をクリックするとパスワードが変更できます。

○ を ● に設定すると自動ログインが有効化されます。

クラウドからログアウトするには、ログアウトをクリックします。



\bigcirc	Account	
User Name	•	t O
Modify Pas	sword	\rightarrow
Email	4	.com
Auto-login		\bigcirc
	Logout	



第10章 システム設定

「設定」インターフェイスでは、パスワード保護と E メールフィードバックの設定、 トラフィック統計の確認、Wi-Fi 設定、地域の選択とソフトウェアのバージョン情報、 ヘルプファイルおよび新機能の表示が実行できます。

۲	Configuration	
6	Password Protection	>
≁	Traffic Statistics	>
÷	Wi-Fi Settings	>
P	Region China,Asia	>
<1	Help	>
(!)	About	\rightarrow

トラフィック統計の確認

ライブビューと遠隔再生中に消費されるネットワークトラフィックを確認することができます。モバイルネットワークトラフィックと Wi-Fi ネットワークトラフィック を別々に確認できます。

手順:

1. 🧐 をクリックして、設定を選択し、「設定」インターフェイスに入ります。



C Traffic Statis	tics
Mobile Network	
Current Day	602.04KB
Current Month	1.47MB
History	12.50MB
Wi-Fi	
Current Day	129.22MB
Current Month	129.22MB
History	129.22MB
Clear All	

- 2. トラフィック統計をクリックして、「トラフィック統計」インターフェイスに入ります。 記録されたトラフィックデータのリストが表示されます。 モバイルネットワーク:ライブビューと遠隔再生中に消費されるセルラーデータが 表示されます。 Wi-Fi: ライブビューと遠隔再生中に消費される Wi-Fi データが表示されます。 **当日**:今日消費されたトラフィックデータが表示されます。 当月:今月消費されたトラフィックデータが表示されます。 履歴:本ソフトウェアを使い始めてから消費されたトラフィックデータが表示され ます。
- 3. (オプション) **すべてクリア**をクリックするとデータが空にすることができます。

Wi-Fi 設定

本ソフトウェアは Wi-Fi ネットワークの QR コードを生成する機能を提供します。ネ ットワークカメラは QR コードをスキャンして簡便に Wi-Fi ネットワークに接続する ことができます。

手順:

- 1. <a>1. <a>1. <a>1. <a>5 <a>6 <a>5 <a>7 <a>5 <a>7 <a>7</a
- 2. Wi-Fi 設定をクリックして「Wi-Fi 設定」インターフェイスに入ります。



🔶 Wi-Fi Settings		
Wi-Fi Name		
Password		
Encryption	WPA/WPA2	>
	Generate	

- Wi-Fi 名 (SSID とも呼ばれる) と Wi-Fi ネットワークのパスワードを入力し、暗号化タイ プ (ルーターの設定と同じ)を選択し、生成をクリックして Wi-Fi ネットワークの QR コ ードを生成します。
 注意:暗号化タイプとして NONE を選択した場合、Wi-Fi のパスワードは必要ありま せん。
- QR コードをスキャンすると、このネットワークにネットワークカメラを接続することができます。

注意:

- この機能は、ネットワークカメラでサポートされている必要があります。
- カメラの詳しい操作方法については、ネットワークカメラのユーザーマニュアル をご覧ください。

地域

デバイスが配置されている地域を変更することができます。

手順:

- 1. 🖲 をクリックして設定を選択し、「設定」インターフェイスに入ります。
- 2. 地域をクリックして、「地域」インターフェイスに入ります。
- 3. 該当する大陸から国を選択します。

注意:地域を選択すると、ヒントボックスがポップアップ表示されます。デバイスが 配置されている地域を選択したことを確認し、確認をクリックします。





新機能とヘルプ

手順:

- 1. 🖲 をクリックして設定を選択し、「設定」インターフェイスに入ります。
- 2. iVMS-4500 についてクリックして、「iVMS-4500 について」インターフェイスに入ります。
- 3. 「iVMS-4500 について」インターフェイスで新機能をクリックして、本ソフトウェアの 新機能が表示されます。

Ð	About
	\bigcirc
	iVMS-4500
	Version 4.2.0(Build0000000)
	New Features
	Feedback

 「設定」インターフェイスでヘルプをクリックすると、「ヘルプ」インターフェイスに 入ります。本ソフトウェアのヘルプが表示されます。

フィードバック

本ソフトウェアの使用中に問題やご提案がありましたら、「iVMS-4500 について」イン



ターフェイスのフィードバックをクリックして Eメールを送信してください。当社の 技術エンジニアができるだけ早くあなたの問題や提案を処理します。



付録

バージョン履歴

V4.2

追加新機能:

- 同じローカルエリアネットワーク内にあるオンラインデバイスを検索し、追加し、その ネットワークパラメータを編集することができます。
- ネットワークと携帯電話のハードウェアの性能に応じて、ラブビュー中に EZVI デバイ スの画質の種類(クリアと滑らかさ)を調整できます。
- XMPP プロトコルのアラーム通知をサポートしています。ソフトウェアの地域は中国で あれば、アラーム通知がサポートされています。

V4.1

追加新機能:

- 1. iVMS-4500 ソフトウェアを初めて実行する際、地域の選択を提供します。また、設定ペ ージで地域を変更することもできます。
- デバイスの Wi-Fi ネットワークを設定とデバイスシリアル番号をスキャンして、自動的に追加することができます。

V4.0

追加新機能:

- 1. 新たな体験や便利な操作を提供するため、新たに設計された UI。
- ライブビューで1、4、9、16のウィンドウ分割モードを提供し、同時に16台までのカメラが表示できます。
- 3. 録画ファイルの遠隔再生でウィンドウの4分割が行なえ、同時に4台までのカメラで 録画ファイルが再生できます。
- 4. 画質調整が、クリア、滑らかさ、カスタムに簡素化されました。
- 5. 遠隔再生のスピードが 1/4 倍、1/2 倍、1 倍、2 倍、4 倍に設定できます。希望の再生速 度が選択できます。



- マルチウィンドウ分割モード中は、ウィンドウシーケンスを調整するためのウィンド ウをドラッグして移動することができます。。
- デバイスの QR コードをスキャンしてデバイスが追加できます。QR コードは、iVMS-4200 クラアントソフトウェアやデバイスのローカルメニューから取得できます。
- 8. 安全性の問題を回避するため、ソフトウェアには Wi-Fi 情報が保存されません。

V3.4

追加新機能:

- アラーム通知や情報管理をサポートしています。ソフトウェアにプッシュされ、通知で きるアラームには、動体検知アラーム、ビデオロスアラーム、ビデオタンパーアラーム、 センサーアラーム、ラインクロスアラーム、侵入検知アラーム、顔検知アラーム、シー ン変更検知アラーム、音声異常アラーム、デフォーカスアラーム、PIR アラームがあり ます。
- ライブビューや再生中にキャプチャーした画像や録画したビデオは、Eメールに送信することができます。
- 3. クラウドアカウントやクラウドデバイスを管理するクラウドサービスが提供されます。
- ライブビューや再生中に消費されたネットワークトラフィック統計を確認することができます。
- 5. Wi-Fi ネットワークの QR コードの生成に対応します。
- 6. 多言語 GUI を提供します。追加された言語は、エストニア語、日本語、韓国語、ロシア 語、タイ語、繁体字中国語、トルコ語、ブルガリア語、クロアチア語、チェコ語、デン マーク語、オランダ語、フィンランド語、フランス語、ドイツ語、ギリシャ語、ヘブラ イ語、ハンガリー語、イタリア語、ノルウェー語、ポーランド語、ポルトガル語、ルー マニア語、セルビア語、スロバキア語、スロベニア語、スペイン語とスウェーデンが含 まれています。

V3.2

追加新機能:

- 1. 画像とビデオのローカルストレージと管理。
- 2. ライブビューと再生モードの際、ローカル録画に対応。



- ダブルクリックすると、ライブビュー、遠隔再生、キャプチャー画像のデジタルズーム が実行できます。
- 4. ライブビュー、遠隔再生、ローカル再生のオートロックが無効にできます。
- 5. 停止後に、選択された全部のカメラで、以前のライブビューを回復することができます。
- ライブビューや遠隔再生モードでカメラリストを下向きにスライドすると、デバイス 状態が更新されます。
- 7. 背景から切り替えた後に遠隔再生が回復されます。
- 8. 新しいデバイスを追加することができるように、以前の登録モードが記憶されます。
- 9. HiDDNS 登録モードに、シリアル番号スキャン機能が追加されました。
- 10. メインメニューボタン名の表示。
- 11. 設定や異常状態に関するヒントが追加されました。例えば、ネットワークが異常になる と「ネットワーク接続を確認してください。」メッセージが現れます。

V 3.1

追加新機能:

- 1. 音声コントロールの対応。
- 2. Eメールフィードバックの対応。
- 3. デジタルズームの対応。

V 3.0

追加新機能:

- 1. 便利な操作を提供するため、新たに設計された GUI。
- 2. 16 チャンネルまでの同期ライブビュー。
- 3. ページごとのライブビューへの対応。
- 4. チャンネルゼロのライブ表示への対応。
- 5. 再生パフォーマンスの最適化。
- 6. ソフトウェアのクイック操作ガイドと主要機能の表示。
- 7. 新規バージョンを自動的に確認。
- 8. ライブビューモード中の画質設定。
- 9. アラーム出力コントロール。



10. パスワード保護。

変更点:

- 1. PTZ コントロールの最適化。
- 2. 「アラーム管理」設定の削除。
- 3. チャンネル設定の削除。
- 4. 最初のログイン時の登録キャンセル。

GRASPHERE JAPAN http://www.grasphere.com/